

7. 'Langenlois': 自動車交通を自粛する政策を実施する自治体
トピック: 自治体レベルでの環境にやさしい交通手段の利用の促進

特徴

費用のかからない、他の地域でも簡単に見習うことのできる手法を用いて、個々人の自発性に訴えるかたちで、自動車の利用を抑止し、環境にやさしい他の交通手段の利用を推進してきた。

<プロジェクトの目的・効果>

オーストリア南部（低緯度地域）に位置する自治体では、個人の自家用車利用の増加傾向に歯止めをかけるべく、“traffic reduction community”という概念を定立した。当地の人口は7,000人に満たないが、'Langenlois'プロジェクトによりこの傾向に十分な対策を取ることが可能であることを実証した。

4年間のモデルプロジェクトである'Langenlois Traffic Reduction Community'は、より環境にやさしい交通手段を簡単に利用することができる人々に対して、自発的に自動車利用の機会を減らしてもらうことを目的とする。

'Traffic Reduction Manual'がプロジェクトの全体像を、詳細に、かつわかりやすく概説しており、“traffic reduction community”の概念に基づき、徐々にではあるが未永く自治体の生活を形作ってゆこうとする長期的なプロジェクトである。

プロジェクトの波及効果は、世論調査や科学的な手法による交通量の計測により分析される。プロジェクトの実施以来一年を経て、住民の27%は、「プロジェクト開始以来、自分たちは車の代わりに徒歩などの環境にやさしい移動手段を利用するようになった」と言明した。

<特徴>

地元経済の活性化も同様に重要な目標であるため、魅力的なお店、余暇を楽しむスポット、ローカルな職場といった要素が交通の制限にとって必要な条件となっている。

交通を減らそうとする人々の意識こそがプロジェクトの中核にある。93年に行った調査では、住民の34%とドライバーの44%が、強制的につまり新法を導入せずとも、環境にやさしい交通手段を採るよう人々に動機づけることができるという意見に賛同した。

自動車の運転には何らの制限も課さない。

“Good ideas instead of high costs”をモットーに、あらゆる自治体が簡単に模倣することができるよう、個々の手法は費用のかからないものとしている。

・(仮訳)

・(出典)Synthesis Report of the OECD project on Environmentally Sustainable Transport EST presented on occasion of the International est! Conference 4th to 6th October 2000 in Vienna, Austria.